

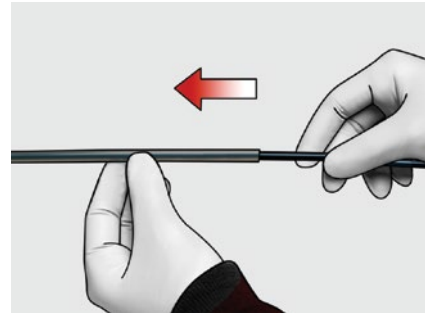
Evolution® Duodenal

CONTROLLED-RELEASE STENT - UNCOVERED

Features

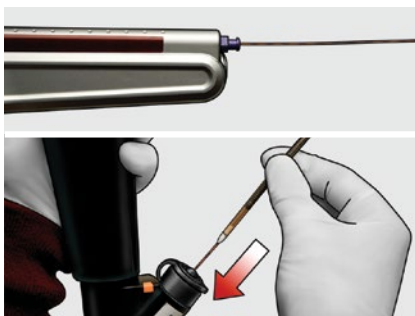


Step 1



ステントから防護用チューブを取り外します。

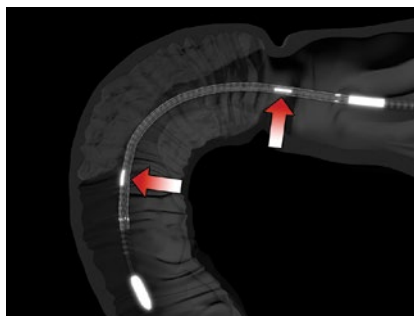
Step 2



ガイドワイヤに沿ってデリバリーシステムを少しずつ挿入し、内視鏡で視認できるようになるまで鉗子チャンネルに挿入します。

注意：最小適合鉗子チャンネル：3.7 mm

Step 3a



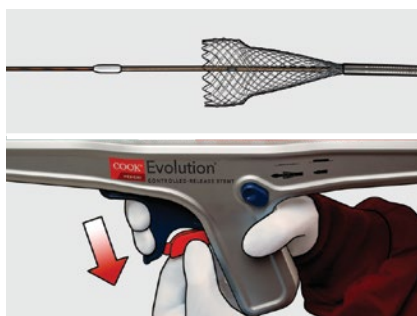
エックス線透視下で狭窄部を挟むようにインナーカテーテル上のエックス線不透過性マーカを配置します。

Step 3b



注意：ステント近位端にあるデリバリーシステム上の黄色マーカも内視鏡下での狭窄に対するステント近位端（術者側の端）の位置決め基準として利用できます。

Step 4



エックス線透視下でステントが所望の位置にあるかを確認します。赤色のセーフティガードをハンドルから取り外すことによってステントを展開します。トリガを引き続けて、ステントの展開を続けます。

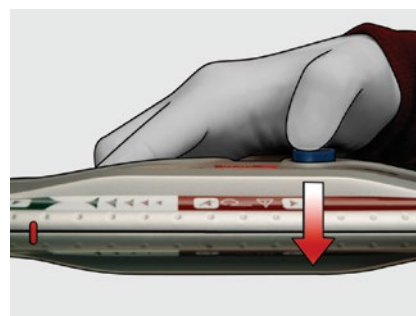
Step 5a



展開中にステントの位置変更が必要な場合は、ステントを再収納することが可能です。

注意：ステント展開インジケータが復帰限界点を超えた後はステントを再収納することができません。これは本装置上のステント展開インジケータ（赤色マーカ）がハンドル上の復帰限界点マークを超えることを指します。

Step 5b



ステントを再収納するためには、デリバリーシステム側面の方向ボタンを逆方向に押します。

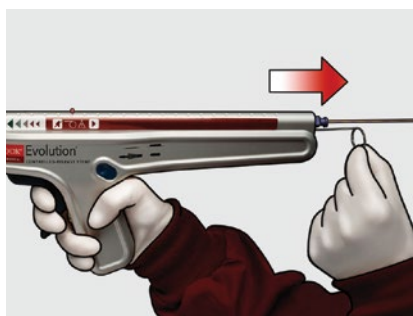
注意：再収納の際、初めてトリガを引く場合は、方向ボタンを押したままにします。必要な分量に達するまでトリガを引き続けます。

Step 6



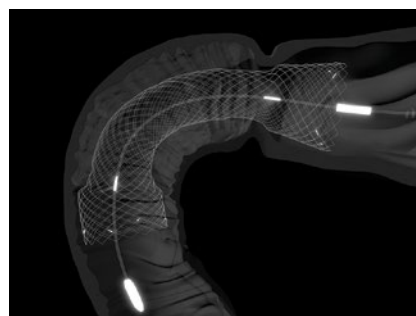
留置を再開するには、方向ボタンを再度反対側に押し、最初のストロークの間は方向ボタンを押したまま、トリガを引きます。

Step 7



ステントの復帰限界点を超えたら、ガイドワイヤポート（雌型ルアーロックアダプタポート）の近くのセーフティワイヤをハンドルから引き抜きます。トリガを引き続けてステントの展開を続けます。

Step 8



留置後、ステントが拡張しているかエックス線透視下で確認します。拡張が確認できたら、デリバリーシステムを安全に抜去することができます。

本品の詳しい使用方法是最新の添付文書を参照してください。



製造販売元
クックメディカルジャパン合同会社
〒164-0001 東京都中野区中野4-10-1
中野セントラルパークイースト
TEL:03-6853-9470
cookmedical.co.jp